

# 平成30（2018）年度 学校評価報告書

豊能町立東能勢小学校

【本文中の%数値について】

◇各項目の本年度と昨年度，一昨年度の「とてもそう思う」と「だいたいそう思う」の合計である。

◇保護者集計は( )に，児童集計は<>に，教職員集計は<<>>に入れた。いずれも(本年度，昨年度，一昨年度)の順とした。

## 学校評価 I

① 設定目標 【ねらい】	<p>自尊感情を高め合う集団を育成する。</p> <p>【情報を伝える。説明する。考えや思いを聞く。】</p> <p>◎教育の方針や活動状況を児童・保護者・地域の人々に適切に伝える。</p> <p>◎児童・保護者・地域の人々の願いや思いを受け止め，教育活動に反映させる。</p>
② 本年度の 取り組み	<p>○学校教育自己診断による自己評価の実施 ○学校協議会による学校評価の実施</p> <p>○学校だより，保健だより，学級通信，学力向上担当通信「学校だよりプラス」の発行</p> <p>○全国学力・学習状況調査結果報告 ○PTA 総会での紹介 ○参観授業 ○学習発表会 ○海洋学習・修学旅行説明会</p> <p>○入学説明会 ○家庭訪問 ○個人懇談 ○ホームページの運営 ○見守り隊結成式・中間ふり返り会 ○PTA との協働</p> <p>○学校だよりの各自治会への配布</p>
③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容	<p>◇関係するアンケート項目は，以下の3項目である。</p> <p>(1)学校は，教育方針や指導の様子を分かりやすく伝えている。 ( 8 1 % , 85% , 94% ) &lt; --% , --% , --% &gt; &lt;&lt; 9 1 % , 89% , 100% &gt;&gt;</p> <p>(4)学校は，保護者や地域の人たちと協力して教育活動を進めようとしている。 ( 8 6 % , 90% , 90% ) &lt; 9 5 % , 91% , 96% &gt; &lt;&lt; 8 4 % , 73% , 82% &gt;&gt;</p> <p>(10)学校は，子どものことで困った時，相談にのろうとしている。 ( 8 3 % , 83% , 85% ) &lt; 8 5 % , 82% , 79% &gt; &lt;&lt; 1 0 0 % , 88% , 100% &gt;&gt;</p> <p>「伝える」ことについては，「とてもそう思う」が 10%減少した。通信等を活用し，活動内容を知らせるだけでなく，指導方針についても積極的に発信していきたい。また，学校の様々な教育活動は，環境整備作業や学習サポート，登下校時の見守りなど，保護者や地域の力をお借りして運営できている。保護者・地域・学校が連携を図りながら教育活動が進められるよう，学校は情報を発信していかねばならないと考える。</p> <p>(10)の項目においては，保護者・児童からの肯定的評価は十分とは言えない。まずは，児童と教師が信頼関係を築くことが何よりも重要である。児童一人一人の変化に気付き，見逃さずに丁寧に対応することで，信頼関係を築いていきたいと考える。児童や保護者の皆様と真摯に向き合い，教職員が一丸となり教育活動に取り組んでいきたい。</p>
④ 学校関係者評価(学校協議会等からの提言)	<p>児童・保護者とも，おおむね肯定的な意見が多い。</p> <p>学級通信は，保護者にとって学級の様子を知る大きな手がかりになる。更に掲載内容が工夫されることを望む。</p> <p>「地域との協力」に関して，見守り活動や環境整備については，地域の方々に協力していただいていることは周知されている。しかし，学習面での協力については保護者の方に届いていないことが残念である。学校支援コーディネーターや学校からの積極的な発信をお願いしたい。また，地域の方に学校行事への積極的な参加を促し，地域で子どもを育てるという意識を持ってもらうことが必要である。</p> <p>「困ったときに相談できる先生がいるか」の項目では，昨年より児童の肯定的回答が増えており，安心した。保護者や児童にとって，相談できる先生がいることはとても幸せなことである。深刻な問題にいたる前に，気軽に相談できる「話しやすい先生」や「話を聞いてくれる先生」がいてほしい。</p>

**学校評価Ⅱ**

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>自尊感情を高め合う集団を育成する。 【仲間をつなぐ。集団を育てる。地域連携を深める。】 ◎思いを仲間と共有する。お互いのよさを認め合う。集団・社会のルールを大切に する児童を育てる。 ◎人権教育をすべての教育活動の基盤において取り組む。 ◎地域の方との交流を大切に、豊かな文化の育成をめざす。 ◎義務教育9年間の子どもの育ちを見守り、支援する。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○縦割り清掃 ○学級・班遊び ○朝レク ○全校遊び ○長縄大会 ○社会見学 ○学習発表会 ○運動会 ○海洋学習 ○修学旅行 ○縦割り仲よしタイム ○つながりタイム ○わくわくKID'S ○遊びの出店 ○地域探検 ○米づくり ○昔遊び○専門部・クラブ活動 ○園小交流会 ○小中合同研修会 ○人権参観 ○人権講演会 ○中学校給食・授業・クラブ体験 ○平和登校日 ○花いっぱい運動 ○地域施設との交流 ○学級通信の発行 ○生活アンケート・いじめ体罰アンケートの実施 ○地域の方からの聞き取り ○青育協への参画とミンスポーツ大会運営協力</p>
<p>③ 学校教育自 己診断・授 業評価等定 量的評価及 び定性的自 己評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の5項目である。 (2)子どもは、楽しく学校生活を送っている。 ( 9 1 % , 87% , 93%) &lt; 8 0 % , 76% , 79% &gt; ≪ 7 5 % , 78% , 88% ≫ (3)学校は、児童が協力し合って取り組む機会を持ち、「つながり」を育んでいる。 ( 8 6 % , 94% , 90%) &lt; 8 6 % , 78% , 82% &gt; ≪ 8 4 % , 73% , 82% ≫ (5)学校は、こども園や中学校との連携を効果的に進めようとしている。 ( 7 7 % , 90% , 90%) &lt; --% , --% , --% &gt; ≪ 4 2 % , 78% , 82% ≫ (11)学校は、いじめのない仲間づくりに取り組んでいる。 ( 7 5 % , 75% , 82%) &lt; 9 0 % , 90% , 87% &gt; ≪ 8 8 % , 83% , 88% ≫ (13)子どもたちは、あいさつしたり感謝の気持ちを伝えたりしている。 ( 7 3 % , 80% , 79%) &lt; 9 0 % , 91% , 89% &gt; ≪ 9 2 % , 89% , 82% ≫ 全ての児童にとって、学校は「楽しい」ところでなくてはならない。しかし、(2)の項目に おいて、肯定的回答は僅かに増えてはいるが、約2割(30名)の児童が「学校はあまり楽しく ない」「楽しくない」と感じているという結果が出ている。 (3)の児童同士の「つながり」を育むことで、(2)(11)の肯定的評価の向上にもつながって いくものとする。豊かな集団づくりを目指して、行事などでの取り組みを行ってきたが、日 常の授業の中での集団づくりをより充実させていきたい。また、いじめや暴言・暴力のない、 児童が安心して過ごせる学校となるよう、言葉遣いにも気をつけて指導していきたい。 (13)の挨拶についても、児童が楽しく学校に登校できるようになれば、気持ちのよいあい さつができるようになると思う。 (5)の園小中連携についても、効果的な取り組みとなるよう、ねらいを明確にし、計画的・ 継続的に進めていきたい。</p>
<p>④ 学校関係者 評価(学校 協議会等か らの提言)</p>	<p>「学校が楽しい」については、児童の8割、保護者の9割が肯定的な回答である一方、 「学校が楽しくない」と感じている児童がいることは見過ごせない。保護者の方や先生方 の何気ない声かけが元気の源になるのではないか。少人数の学校だからこそのきめ細 かい指導と仲間づくりをすることによって、「学校が好き」につながっていくことを期待す る。 挨拶に関しての評価があまりよくないが、地域の方からは「元気に挨拶してくれる」と のお話もある。各家庭でも声かけをしていただきたい。</p>

**学校評価Ⅲ**

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>自尊感情を高め合う集団を育成する。 【学習を組織する。意欲を育てる。】 ◎学力の向上をめざし、学習における基礎・基本の定着をはかる。 ◎教育課程の実施状況に関する自己評価に関わる研究を進める。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○チームティーチングでの授業 ○少人数分割授業 ○習熟度別授業 ○算数 100 問問題集 ○漢字検定 ○自学自習の取り組み ○補充学習(放課後学習・夏の学習室) ○朝読書活動 ○本の帯コンクール ○読書感想文コンクール ○家読の推進 ○修学旅行 ○社会見学 ○芸術鑑賞会 ○授業スタンダード(約束事の統一)の確立 ○授業力向上校内研修 ○校外での研修・研究活動への参加 ○町教委の学校訪問 ○全国学力学習状況調査結果の分析 ○学力診断テストの実施と分析 ○授業アンケートの実施 ○校長・教頭による授業評価と指導</p>
<p>③ 学校教育自 己診断・授 業評価等定 量的評価及 び定性的自 己評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の3項目である。 (7)学校は、子どもたちの学力を高めるためにしっかり取り組んでいる。 (71%, 72%, 83%) &lt;--%, --%, --%&gt; ≪83%, 83%, 88%≫ (*算数の授業は、よくわかる。 &lt;87%, 87%, 87%&gt; (*国語の授業は、よくわかる。 &lt;91%, 88%, 93%&gt; (9)通知表の評価や記録は、適切でわかりやすい。 (85%, 80%, 83%) &lt;89%, 82%, 87%&gt; ≪92%, 83%, 88%≫ (12)学校は、学習や生活のきまりをしっかり指導している。 (84%, 86%, 90%) &lt;95%, 93%, 92%&gt; ≪91%, 94%, 76%≫ (7)の項目より、保護者は、学力の向上に対し課題を感じていることについて、深刻に受け止る。 児童の「確かな学力」を育むためには、日々の授業を重視し、各学年における基礎的・基本的な知識の確実な定着を図り、獲得した知識を活用できる力を育むための授業をつくっていかねばならない。そのために、学校として、継続して「東のせ学びのスタンダード(学習規律)」を徹底していく。また、「とよの授業スタンダード」に則った授業を構成し、授業展開を工夫して児童の学習意欲を高め、学力の向上を図りたい。児童の学力向上のためには、教員の授業力向上が欠かせない。教職員が一丸となって研修・研鑽を積み、授業改善に努めていきたい。 (9)の項目「通知表」については、肯定的評価の割合が増加していた。今後も、分かりやすい通知表となるよう検討し、適切な評価をしていきたい。 (12)の項目については、教職員で共通確認し、指導を継続しているが、徹底はできていない。児童には、きまりを守って過ごすことの心地よさを感じさせたい。</p>
<p>④ 学校関係者 評価(学校 協議会等か らの提言)</p>	<p>「学習について」の項目では、児童からは肯定的な意見が多く、先生方の努力がうかがえる。しかし、昨年度同様保護者の意見は厳しく、児童の努力の結果や「東のせ学びのスタンダード」「とよの授業スタンダード」の取り組みが、家庭に伝わっていないと思われる。学力に関する分析結果や課題点、具体的な取り組みを周知し、学力向上につなげていてもらいたい。 生活する上できまりを守ることなどの基本的なことは、しっかり身につけなければならない。学校だけでなく、家庭や地域がそれぞれの立場で子どものことを考え、様々な場面で成長に関わっていくことが大切ではないかと考える。</p>

## 学校評価Ⅳ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>自尊感情を高め合う集団を育成する。 【心身の健康を増進させる。】 ◎心身の健康・食・安全について考え、スポーツを楽しむ児童を育成する。 ◎命や体を大切にし、生活の向上をめざす児童を育てる。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○朝レク ○運動会 ○マラソン大会 ○ジョギングタイム ○全校遊び ○夏季水泳 ○着衣泳 ○非行防止教室 ○縦割り仲よしタイム ○長縄大会 ○ほんわか歯みがきタイム ○歯科衛生士によるブラッシング指導 ○交通安全教室 ○ほんわか歯みがきタイム ○海洋学習 ○栄養教諭による食育授業 ○見守り活動 ○避難訓練(不審者・火災・地震) ○毎朝の登校指導 ○防災マニュアルの見直し ○校内安全点検 ○登下校メールサービス・緊急メールの運営</p>
<p>③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の2項目である。 (6)学校は、子どもたちの安全確保に努めようとしている。 ( 8 6 % , 86% , 84% ) &lt; 9 2 % , 94% , 97% &gt; ≪ 1 0 0 % , 95% , 100% ≫ (8)学校は、子どもたちの体力を高めるために取り組んでいる。 ( 7 8 % , 79% , 82% ) &lt; 8 6 % , 85% , 89% &gt; ≪ 7 2 % , 71% , 59% ≫ (6)の項目では、ほぼ横ばいの結果となった。登下校の安全については、PTAや地域の皆様にお世話になり見守りを行ってきている。今後もPTA、地域の皆様と情報を共有し、必要に応じて行政機関への働きかけも行う中で児童の安全確保を行っていききたい。学校内においては、登下校指導や避難訓練等を通して意識を高めていきたい。また、日常の安全点検の精度を高めることで、児童の安全を確保していきたい。 (8)の項目でも、ほぼ横ばいの結果となった。今年度は、長縄大会を実施したが、体育授業の工夫や朝レク、ジョギングタイム等の取り組みを通して、計画的・継続的な体力向上を目指していきたい。また、運動する楽しさやできた時の喜びを実感できるようにすることも引き続き意識して取り組んでいきたい。</p>
<p>④ 学校関係者評価(学校協議会等からの提言)</p>	<p>学校生活の安全についての項目では、日頃の見守りや下校指導が定着してきたのか、高評価である。警報発令や災害の多発した今年度の経験を今後の指導に生かしてほしい。 体力づくりの面では、学校では運動できる機会をできるだけ多くもてるよう工夫されていると思う。しかし、成果やアンケートの結果にはつながっていないことが残念である。 児童の体力低下が心配であり、授業以外の朝などの時間を使って週に何回か運動させてほしいという意見がある。一方で、体力アップのための運動が、怪我につながる危険性への心配もある。 いろいろな運動を経験させることを通して、達成感を感じさせ、「やればできる」という自信につながられるような先生方の指導を期待する。子どもたちが自信を持つことで、自尊感情も高まっていくのではないかと考える。</p>

### ◎家庭教育について(学校協議会等からの提言)

家庭での学習や睡眠の時間・読書の時間・ゲームの時間など、保護者の一層の見守りや児童との確認、働きかけをしてほしい。特に読書については、国際子ども図書館2017年の報告書では「読書活動の度合いが高い児童生徒の方が、論理的思考等の意識・行動に関する得点は高くなる。」とまとめている。学校生活の上での上記の3・4の項目に大きく関わっており、学校と家庭での協力が望まれる。